

専攻主任 ご挨拶

心理臨床専攻 専攻主任 早川 すみ江

現代は、生成 AI や情報通信技術の飛躍的な発展によって、ワンクリックで欲しいものが手に入り、AIに相談すれば最適解と思われる助言をしてくれる時代です。その一方で、人間本来の「対面によるつながりの質」は変容し、孤独や孤立、あるいは実存的な空虚感といった問題が深刻な社会問題となっています。

こうしたデジタル化が加速する時代において、「こころの専門家」が提供しうる独自の価値とは何でしょうか。生身のセラピストとクライアントが会おうと、そこに情緒が生じ、こころが動きます。心理臨床の真髄は、セラピストが自らのこころを使ってクライアントと向き合い、その「こころの触れ合い」を通じて変容を支えることにあるのではないのでしょうか。そしてこの相互作用を安心・安全に遂行するためには、単なる知識の習得を超えた高度な技術と、自己の内面を見つめ続ける弛まぬ訓練が不可欠です。

本専攻では、確かな理論に裏うちされた知性と、他者の痛みを分かち合えるしなやかな感性を兼ね備え、自らのこころを臨床の道具として使いこなせる専門家の育成を目指しています。



専攻の概要

【課程名称】社会福祉学研究科 心理臨床専攻 修士課程

【修業年限】2年

【授与学位】修士(心理臨床) Master of Clinical Psychology

【入学定員】10名



修了要件

社会福祉学研究科心理臨床専攻修士課程を修了するためには、修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目について、41単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、研究科委員会において適当と認めたときには、特定の課題の研究成果をもって修士論文の審査に代えることができる。

前項による所定の授業科目は次の各号により修得する。

- 臨床心理基礎必修科目【臨床心理学の基礎理論と基礎技法を学ぶ科目群】より11科目25単位。
- 臨床心理選択必修科目を構成する5科目群【臨床心理学研究法と統計的手法を学ぶ科目群、人格発達を学ぶ科目群、心理臨床と社会の関わりを学ぶ科目群、心の病理と生涯発達を学ぶ科目群、心理療法と地域的援助を学ぶ科目群】より各群1科目以上10単位以上。
- 研究指導科目【修士論文執筆を中心に心理臨床の研究指導を行う科目群】2科目6単位。

資格取得

臨床心理士資格試験受験資格

「臨床心理士」とは、臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、人間の“こころ”の問題にアプローチする“心の専門家”です。* 心理臨床専攻は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会より第1種指定大学院の認定を受けているため、本専攻を修了することによって臨床心理士資格試験受験資格を取得することができます。

*公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会ホームページより抜粋 <http://jcbcp.or.jp/rinshou/about-2/>

公認心理師資格試験受験資格

公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け公認心理師の名称を用いて保健医療、福祉、教育その他の分野において心理学に関する専門的知識及び技術をもって次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。

- 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

[厚生労働省ホームページより抜粋 (<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116049.html>)]

受験資格（「公認心理師法」第7条第1項より一部抜粋）

①学校教育法に基づく大学において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるものを修めて※1卒業し、②かつ、同法に基づく大学院において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるもの※2を修めてその課程を修了した者

※1 大学院入学前の学部での単位修得状況は、出身大学に確認してください。

※2 本専攻では、「公認心理師法」における、学校教育法に基づく大学院において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目を開講しています。なお、大学における公認心理師となるために必要な科目の修得状況によっては、大学院において公認心理師になるために必要な科目の履修に制限を設ける場合があります。

「公認心理師」の受験資格を取得するためには、「公認心理師法」第7条第1項に定めるとおり、次の①②の要件を満たす必要があります。公認心理師法第7条1項で定める受験資格以外の資格については、公認心理師法をご確認ください。

①の要件を満たさない者が、②の要件を満たしても「公認心理師」の受験資格は取得できません。

入試日程

区 分	一般入試	社会人入試
出願期間	[第1期入試]2026年10月9日(金)～10月23日(金)※最終日消印有効	[第2期入試]2027年1月15日(金)～1月29日(金)※最終日消印有効
入 試 日	[第1期入試]2026年11月7日(土)、8日(日)	[第2期入試]2027年2月13日(土)、14日(日)
会 場	名古屋キャンパス	
合格発表	[第1期入試]2026年11月14日(土)	[第2期入試]2027年2月20日(土)
出願資格	大学等の心理学部、心理学科、心理学専攻、心理コース等で心理学を専攻した(または専攻している)ことが明らかな者	大学等において心理学系科目を16単位以上取得し(または取得する見込みであり)、かつ、入学時に通算3年以上の就業経験のある者(非常勤職員の場合は平均週3日以上勤務したことが必要)。
試験科目	●専門試験[心理学、臨床心理学](120分) ●英語(90分) ●面接 ※第1次選考合格者のみ実施 ●書類審査	●専門試験[心理学、臨床心理学](120分) ●専門領域に関する小論文(90分) ●面接 ※第1次選考合格者のみ実施 ●書類審査

学費（2027年度[予定]）

入 学 金（初年度のみ）	200,000円
授 業 料（年額）	700,000円
教育環境充実費（年額）	100,000円
実 習 費（年額）	40,000円
学生教育研究災害障害保険（初年度のみ）	750円
合 計	1,040,750円

※入学金と学生教育研究災害障害保険は初年度のみ納入。
※授業料、教育環境充実費、実習費は分割納入が可能です。
※本学学部卒業生、本法人が設置する専門学校および付属高等学校卒業生の入学金は半額となります。
※2027年度学費(予定)を記載しています。入学時点においては学費額に変更が生じる可能性があります。
※オリコ学費サポートプラン提携

奨学金制度

本学では研究に熱意を有しながらも経済的に就学が困難な院生に対して奨学金制度を紹介し、積極的な活動ができるようにしています。

(参考)日本学生機構奨学金[貸与]

第1種[無利子](月額)	50,000円 又は 88,000円	左記2種類の中から選択して申請できます。
第2種[有利子](月額)	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円	左記5種類の中から選択して申請できます。

■キャンパス案内

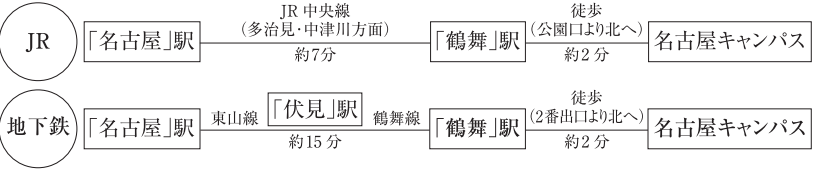
日本福祉大学 名古屋キャンパス

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35

TEL 052-242-3050 FAX 052-242-3072



■アクセス



●お問い合わせは下記までお願いいたします。

日本福祉大学名古屋事務室

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35 TEL：052-242-3050

E-mail: swjim@ml.n-fukushi.ac.jp

<https://www.n-fukushi.ac.jp/gs/>



日本福祉大学大学院 社会福祉学研究科 心理臨床専攻 修士課程 〈夜間制大学院〉



2027年度
入学案内



日本福祉大学

2 年間の流れ(修士論文執筆・実習)

年次	月	修士論文スケジュール	実習の流れ	
			学内実習	学外実習
1 年次	5 月	研究計画書の提出		
	6 月		実習オリエンテーション	
	9 月	小論文①の提出 ※研究テーマ(仮)の設定 問題意識を明確にし、関連した先行研究を整理する。		
		指導教員の決定、指導の開始		1 年次後期から一定期間の学外実習を実施(見学実習を含む)
	10月	中間報告会(発表・質疑応答) ※研究の進捗状況の発表		
	2 月	小論文②の提出 ※研究テーマ(仮)の設定 先行研究、および年間研究成果のまとめ		
2 年次	4 月	修士学位請求論文執筆計画書の提出		
	6 月	中間報告会(発表・質疑応答) ※研究と論文執筆の進捗状況の報告		2 年次の5月から一定期間、2 施設で、合計20日間以上の学外実習を実施
	9 月	小論文③の提出 ※研究の進捗状況と成果のまとめ		
	11月	修士論文の第一次提出		
		修士論文報告会(発表・質疑応答) ※最終的な論文指導		
	1 月	修士論文の最終提出		
		審査委員会による口頭試問・最終試験		
	2〜3月	課程修了判定結果の通知 学位記授与		

●2026 年度の内容を掲載しています。年度によって内容が変わる場合があります。

科目概要

臨床心理学特論	心理臨床の実践に入る前に心理臨床の基礎としての理論および実践領域における実態を学びます。
心理学研究方法特論	心理学の実証的な研究についての理解を深めることを通して修士論文研究(臨床心理学に関わる研究)を推進し、研究論文を作成する基礎的な力の修得を目指します。
臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	1 年次前期開講の必須科目です。心理専門職の専門業務のひとつである臨床面接について、理論とその背景、基本的態度、受理面接、見立てと方針など成人や子どもの心理面接で必要となる臨床的な考え方や姿勢を学びます。
臨床心理面接特論Ⅱ	1 年次後期開講の必須科目です。専門業務である臨床心理面接について、セラピストの資質と面接技法、クライアント―セラピスト関係、クライアントの心的世界の理解や見立てなど、その実践を学びます。
臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	臨床心理査定は、心理職(公認心理師、臨床心理士)の職務のひとつで、クライアントの良い面も悪い面も含めた行動や性格を把握、理解し支援に役立てることを目的とします。本演習では、主に投射法検査であるロールシャッハ・テストについて、実施法や結果の処理、解釈法などとともに、倫理的事項も学びます。
臨床心理査定演習Ⅱ	臨床心理査定は、心理職(公認心理師、臨床心理士)の職務のひとつで、クライアントの良い面も悪い面も含めた行動や性格を把握、理解し支援に役立てることを目的とします。本演習では、主に投射法検査であるロールシャッハ・テストについて、実施法や結果の処理、解釈法などとともに、倫理的事項も学びます。
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	主な精神疾患について、症状・経過・診断・治療の基本事項を解説し、心理・社会的な対応の工夫を学びます。また、今日のメンタルヘルスの課題や展望について議論し、文献や事例を通し考察を深めます。
臨床心理基礎実習	1 年次開講の必須科目で、倫理や姿勢を学び、心理面接に必要な基礎的能力、技術修得を目指します。
臨床心理実習Ⅰ-① 臨床心理実習Ⅰ-②(心理実践実習)	学内実習、学内教員によるスーパーヴィジョン、ケース・カンファレンスへの参加およびケース報告や検討等を通し、臨床心理士および公認心理師の業務において必要となる基本的態度、倫理的事項、基礎的知識および技術を学び、実際に心理的支援を要する者等の理解および支援を実践していく力の修得を目指します。
臨床心理実習Ⅰ-③ 臨床心理実習Ⅰ-④ 臨床心理実習Ⅰ-⑤(心理実践実習)	学外実習と事前・事後の学習を通し、臨床心理士および公認心理師の業務で必要な基本的態度、倫理的事項、基礎的知識や技術を学び、心理的支援の実際の理解を深め、支援を実践していく力の獲得を目指します。学外施設では実務を体験し、心理的支援、多職種連携、地域連携、職業倫理と法的義務などを学びます。
心理臨床研究演習Ⅰ 心理臨床研究演習Ⅱ	入学後に院生の希望を確認し指導教員が決定します。1 年次後期、2 年次は、指導教員が修士論文研究および論文執筆について、各院生の問題意識や課題について、指導を行います。研究の主体は院生であることから、積極的な姿勢で研究に取り組み、必要に応じて、指導を求める姿勢が必要とされます。

開講科目(予定)

	臨床心理資格認定協会 指定科目群	(公認心理師) 省令で定める 科目番号	科 目 名	単位	年次	
臨床心理基礎必修科目	臨床心理学の基礎理論と 基礎技法を学ぶ科目群	—	臨床心理学特論	4	1	
		7	臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	2	1	
		—	臨床心理面接特論Ⅱ	2	1	
		6	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	1	
		—	臨床心理査定演習Ⅱ	2	1	
		—	臨床心理基礎実習	2	1	
		10	臨床心理実習Ⅰ-①(心理実践実習)	2	1	
		10	臨床心理実習Ⅰ-②(心理実践実習)	4	2	
		10	臨床心理実習Ⅰ-③(心理実践実習)	2	1	
		10	臨床心理実習Ⅰ-④(心理実践実習)	2	2	
		—	臨床心理実習Ⅱ	1	2	
臨床心理選択必修科目	臨床心理学研究法と 統計的手法を学ぶ科目群 (A群)	—	心理学研究法特論	2	1	
		—	心理統計法特論	2	1	
	人格と発達を学ぶ科目群 (B群)	3	人格心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	1・2	
		3	教育臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	1・2	
	心理臨床と社会の関りを 学ぶ科目群 (C群)	8	家族・集団・地域支援特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	1・2	
		4	犯罪心理および被害者支援特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	1・2	
		5	産業・組織心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	1・2	
	心の病理と生涯発達を 学ぶ科目群 (D群)	1	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	1・2	
		2	発達臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	1・2	
		9	心の健康教育特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2	1・2	
	心理療法と地域的援助を 学ぶ科目群 (E群)	—	投射法特論	2	2	
		—	心理療法特論	2	1・2	
	関連科目 推薦 公認心理師 資格必修科目	臨床心理学の近接領域としての 社会福祉基礎理論・社会 福祉臨床を学ぶ科目群	—	ソーシャルワーク論	2	1・2
			—	多職種連携概論	2	1・2
			10	臨床心理実習Ⅰ-⑤(心理実践実習)	1	2
科目 研究 指導	修士論文執筆を中心に 臨床心理の研究指導を 行なう科目群	—	心理臨床研究演習Ⅰ	2	1	
		—	心理臨床研究演習Ⅱ	4	2	

※一部の科目は隔年で開講しています。また、開講科目は変更になる可能性があります。

修了生の声・在院生の声

修了生 **M.K**さん(2024 年度修了) 心理職

「バタン」「ちょっと待って!」検査室から子どもが飛び出し、私が走って追いかけたことは就職してからの1 年間で、何度か経験しました。大学院入学前の私は、その行動を「検査が嫌だったから」としか考えられず、子どもの背景や必要な支援まで考えることはできなかったと思います。大学院では、授業や実習を通して心理職として働くために必要な知識や視点を学びました。また、担当している心理面接について、どうすればよりよくなるのかを同期と話し合って、お互いに視野を広げたりもしました。大学院での学びは、支援が必要な人を理解し、よりよい支援を行う上で必要な力を学びました。こうした学びの場で、皆さんも心理学を学び、支援について考えてみませんか。

在院生 **K.I**さん(2025 年度入学)

私は本学で学部時代を過ごす中で、温かくご指導くださる先生方の存在に魅力を感じ、本学大学院へ進学を決めました。大学院では、講義や実習、修士論文の執筆など、より専門性の高い学びが多く、日々充実した時間を過ごしています。特に学内実習では、実際にケースを担当するだけでなく、ケースカンファレンスを通して豊富な臨床経験をもつ先生方からご指導をいただき、先輩方や同期の考えに触れながら、自らもその一員として意見を深める貴重な機会となっています。時に困難に直面することもありますが、いつでも真摯に相談に乗ってくださる先生方や貴重な助言をくださる先輩方、考えを共有し支え合える同期の存在が大きき力となっています。一つひとつの学びを大切にし、自ら問い続ける姿勢を忘れずに取り組んでいます。

教員紹介

※2026 年度時点の情報を記載しています。所属教員や担当科目は変更になる場合がございます。

早川 すみ江 教授 担当科目 臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ-①②③④⑤(心理実践実習)、投射法特論、心理学研究方法特論、心理臨床研究演習Ⅰ・Ⅱ キーワード 精神分析の心理療法、転移・逆転移、ロールシャッハ・テスト、精神力動	福元 理英 准教授 担当科目 心理学研究法特論、臨床心理実習Ⅰ-①②③④⑤(心理実践実習)、心理臨床研究演習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅱ キーワード 発達障害、学習障害、アセスメント	
瀬地山 葉矢 准教授 担当科目 臨床心理実習Ⅰ-①②③④⑤(心理実践実習)、心理臨床研究演習Ⅰ・Ⅱ、発達臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開) キーワード 関係性の発達、親子の相互作用観察、アタッチメント、セラピスト―クライアント関係、臨床心理学的介入	堀 美和子 准教授 担当科目 臨床心理実習Ⅰ-①②③④⑤(心理実践実習)、心理学研究法特論、心理臨床研究演習Ⅰ・Ⅱ、発達臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開) キーワード 自閉症スペクトラム障害、発達支援、プレイセラピー	牧野 多恵子 准教授 担当科目 臨床心理実習Ⅰ-①②③④⑤(心理実践実習)、心理学研究法特論、心理臨床研究演習Ⅱ、心理統計法特論、発達臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開) キーワード 高齢者心理学、認知症、アセスメント、心理的ウェルビーイング
高橋 蔵人 教授 担当科目 臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、臨床心理実習Ⅰ-①②③④⑤(心理実践実習)、臨床心理実習Ⅱ、心理療法特論、臨床心理面接特論Ⅰ キーワード 心理療法、カウンセリング、精神科医療臨床、児童養護施設臨床	辻野 達也 准教授 担当科目 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)、臨床心理基礎実習、臨床心理実習Ⅰ-①②③④⑤(心理実践実習)、臨床心理実習Ⅱ、教育臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)、心理療法特論 キーワード 深層心理学、風土臨床、臨床人間学、学校臨床	河合 裕子 准教授 担当科目 臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、臨床心理実習Ⅰ-①②③④⑤(心理実践実習)、臨床心理実習Ⅱ、心理療法特論、心の健康教育特論 キーワード 学校臨床、保育臨床、特別支援教育関連、臨床心理面接(関係性・間主観性理論)

実習・研究環境

学内実習/日本福祉大学心理臨床研究センター(心理臨床相談室)	
日本福祉大学心理臨床研究センターは2003 年4 月に開設され、地域サービスの一環として広く相談活動を行うとともに、その成果を教育・研究に活かしています。また、心理臨床専攻の大学院生の教育訓練の場として活用されています。センターでは、子どもから成人までを対象とし、個別カウンセリング、子どものプレイセラピーなど、さまざまな内容の相談活動を行っています。	

学外実習
専門的な援助実践を重視し、その能力を高めるために、心理臨床研究センター(心理臨床相談室)での学内実習に加え、学外での専門的な実習を行います。学外実習は、種類の異なる複数の施設で行うなど、実習の充実を図っています。実習施設は、臨床心理士が勤務している、病院などの医療機関、教育センターなどの教育機関、情緒障害児短期治療施設・児童養護施設などの児童福祉施設などの協力を得ています。

院生研究室

名古屋キャンパスには院生専用の院生研究室を整備しています。院生研究室室内には、パソコン、プリンター、コピー機を設置しています。また、専攻別の研究室、自習や指導時に利用できる個室、シャワールームを完備した休憩室がありキャンパス開館時間内に自由に利用することが可能です。

A photograph of a graduate student study room. In the foreground, there is a light-colored wooden desk with a blue office chair. On the desk, there is a laptop, some papers, and a pen. In the background, there are white lockers or storage cabinets, a printer, and a copy machine. The room appears clean and well-lit.

〈研究室利用可能時間〉

月～土曜日／9:00～23:00 日・祝／9:00～17:00

日本福祉大学付属図書館

美浜本館・名古屋分館・半田分館・東海分館で56万冊超の和洋の学術教養書、約5,000タイトルの雑誌を所蔵しています。名古屋分館は大学院専用の図書館で、専門書が多数揃います。HPから所蔵検索、貸出予約、データベース検索等が可能です。

〈名古屋分館開館時間〉

月～金曜日／10:30～22:30 土曜日／10:30～18:30

日・祝／休

A photograph showing a close-up of bookshelves in a library. The shelves are filled with books of various sizes and colors. Some books are standing upright, while others are lying flat. The focus is on the spines of the books, which display different titles and colors like red, blue, and white.